学校番号	T3015

令和８年度　工業科

教科	工業科	科目	(学)課題探求Ａ	単位数	４単位	年次	２～４年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・工業及びものづくりに関する知識や技能を深めるとともに、作品制作を通して、創造、企画、加工、改善、完成の喜びを体験しましょう。

2　学習の到達目標

実習・学習を通じて、自ら課題を見つけ、主体的に判断し解決や探究に取り組む姿勢を育成するとともに、より良い作品を制作することの喜びや達成感・成就感を体験させる。

(1)　ものづくりに関しての深い知識を習得するとともに，関連する高度な技術を身に付けるようにする。

(2)　各作品の制作を通して課題を発見し，工業に携わる者として科学的な根拠に基づきものづくりに関する技術の進展に対応し解決する力を養う。

(3)　各作品の制作を通して、より良い作品の制作を目指して自ら思考し、創造改善に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ものづくりに関する幅広い知識を習得し、実際の作業を通して総合的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。	作品製作を通して課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき主体的に解決する力を身につけている。	作品製作を通して、より良い作品の制作を目指して、自ら思考し、意欲的な探求心と創造力で取り組む態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	溶接	・溶接の原理 ・身近な製品と関連について ・安全作業の実践 ・溶接作業の基礎 ・ガス溶接実習 ・アーク溶接実習 ・個人作品制作	a: 基礎・基本的な技術を身につけ溶接の意義や役割を理解している。 b:溶接条件等を考える力を身につけている。 c:溶接の原理や装置に関心を持ち、実習作業に取り組むことができる。	・提出物 ・学習状況の観察 ・作品	・学習状況の観察 ・作品 ・自己評価	・学習状況の観察 ・自己評価 ・作品
	木工	・安全の知識 ・工具の知識 ・デザインと図面の作成 ・材料の寸法取り ・部材の切断 ・組立 ・仕上げ加工 ・個人作品制作	a:安全作業や工具の使用方法を理解している、デザイン図面が描ける。 b:各加工ごとに使用する工具を判断し適切に使用する力を身につけている。面図の作成、読み取りができる。 作業工程を理解している。 c:木工を理解し、主体的かつ創造的に課題に取り組むことができる。	・提出物 ・学習状況の観察 ・作品	・学習状況の観察 ・作品 ・自己評価	・学習状況の観察 ・自己評価 ・作品
	陶芸	・焼き物の分類と歴史 ・粘土、工具の説明 ・土練り ・電動ロクロで成形 ・釉薬の作成と施釉 ・個人作品制作	a:工具や材料等の知識を身につけている。 安全作業や工具の使用方法を理解して作業ができる。 b:場面ごとに使用する工具や材料を判断する力を身につけている。 作業工程を理解している。 c:陶芸に関心を持ち、主体的かつ創造的に取り組むことができる。	・提出物 ・学習状況の観察 ・作品	・学習状況の観察 ・作品 ・自己評価	・学習状況の観察 ・自己評価 ・作品
	革細工	・安全の知識 ・工具の知識と使用方法 ・デザインと型紙の作成 ・裁断と縫い合わせ ・革の表面処理 ・個人作品制作	a: 工具や材料等の知識を身につけている。安全作業や工具の使用方法を理解している。 b: 場面ごとに使用する工具や材料を判断する力を身につけている。作業工程の理解。 c: 主体的かつ創造的に制作に取り組むことができる。	・提出物 ・学習状況の観察 ・作品	・学習状況の観察 ・作品 ・自己評価	・学習状況の観察 ・自己評価 ・作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度